

市報

お

11
vol.137

市民が主役の有機農業

佐藤富雄

報道・広報写真の撮影

そして、星の輝く夜がある 真山

お龍

植松三十里

特集

私のまちの図書館は、

特 集

私のまちの図書館は、

目 次

- 私のまちの図書館は、…………… 3
- まちの話題…………… 10
- 市からのお知らせ…………… 13
- 教育委員会だより…………… 28
- 図書館だより…………… 30
- 曾於文藝…………… 31
- 情報掲示板…………… 32
- 今月のプレゼント…………… 34
- 市民の広場…………… 35
- せり市結果…………… 36
- 実は隣のスゴイ人…………… 37
- 戸籍の窓…………… 38
- くらしの情報…………… 39



今月の表紙

今月は『読書の秋』ということで図書館特集!!
表紙には、おめめパッチリのかわいい男の子。
「お母さんに絵本を読んでもらうのが大好き」
と話す瞳はキラキラと輝いていました。
市立図書館には 18 万冊の本があります。
あなたにぴったりの本を見つけて『読書の秋』
を楽しんでみては？

広告

お家の前で見て買えます

買物支援戦隊

カイモソジカー

配達予定日

月	末吉町
火	大隅町
水	財部町
木	末吉町
金	大隅町
土	財部町



営業時間

9:30 ~ 17:00

電話受付時間

8:00 ~ 20:00

休業日

日曜・祝日・年末年始

移動スーパー岩下



070-4724-2967

お名前・ご住所・電話番号を配達員までお伝え下さい

特集

私のまちの 図書館は、

読書の秋。
曾於市の図書館、行ったことがあるでしょうか？
実は色んなこと、やっってるんです。

ここで十数万の物語たちが、
手に取られるのを、
読んでもらうのを、
待っています。



私のまちの図書館は、

曾於市立図書館です。



財部と大隅に
分館もあるよ



曾於市にある図書館は3つ。末吉にある本館と、大隅と財部に分館があります。全館の来館者数は年間でおおよそ7万人にのぼります。蔵書数もおおよそ18万冊とかなりの数です。

館内は、イベントに合わせて装飾がされて楽しい雰囲気。取材に伺ったのは、10月半ば。そこかしこにカボチャのモチーフが飾られていました。職員でどんなものかいいか、毎回頭を悩ませながら作られているそう。これがキッカケで、本を手にする機会も増えそうです。この日も、走って図書館に入ってきた子どもがハロウィーンの装飾の前で、興味深そうに足を止めていました。

そして、棚の上というデッドスペースになってしまいうような場所には、末吉中学校の生徒さんが描いたおすすめ本が紹介されています。そこだけではなく、テーマ別に机に並べられた本のコーナーがいくつもありました。テーマも「敬老の日」や「本で泣く…秋」など様々。「何を読めばいいかわからない」という人にはぴったりです。

普段本を読まない人も図書館に立ち寄ってみたら、何か新しい発見があるかもしれません。

末吉町へ
大隅町へ
財部町へ
いっぱいの本を載せて、
今日もさんぺい号は走ります。



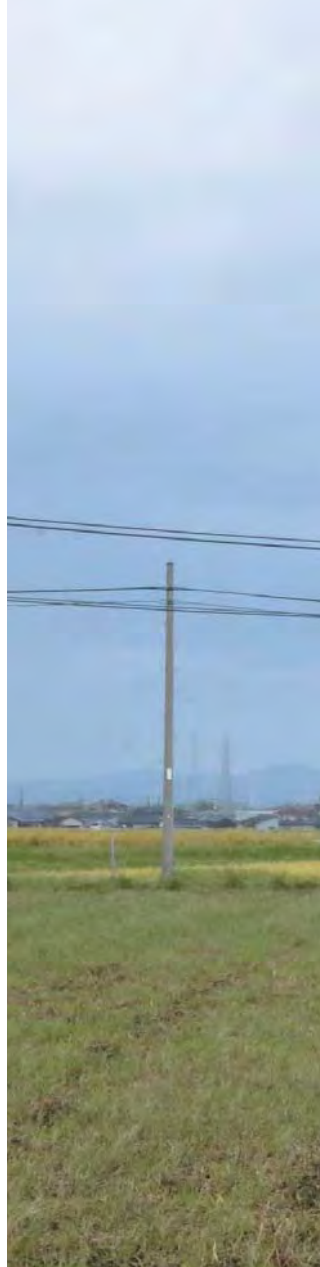
私のまちの図書館は、

移動図書館

やっています。



みんな本が
好きだニャ〜



曾於市の移動図書館は、「さんぺい号」といい、1号と2号の2台で運行しています。なぜ「さんぺい号」なのかというと、この移動図書館が始まったのが平成3年のこと。その「3」と「平」をとって、「さんぺい号」になったそうです。

行く場所は、幼稚園に保育園、小学校や中学校など日によって様々。およそ3500冊の本を載せて、図書館から遠い地域を中心に北へ南へ、本の貸し出しを行うために移動します。

さんぺい号が着くと、子どもたちが駆け足でやってきます。どんな本を選んだか友達と見せ合う子たちや、一人でじっくり中身を吟味する子、即決で貸し出しに向かう子。どの子も本選びを楽しんでいました。

園児たちも、それはもう真剣に本を選んでいて、引率の先生は「もう《読みたい本》を自分でしっかり選んでいるみたいで、こっちがこれはどう?とか言っても、『嫌!』と断られたりするんです(笑)」と、外から見守られていました。

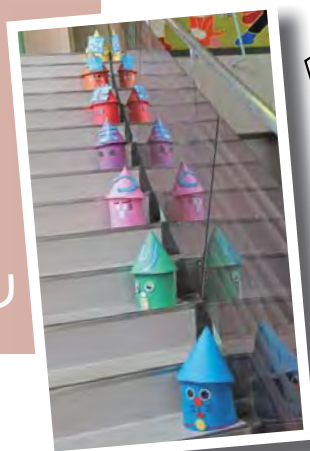
曾於市を巡る移動図書館「さんぺい号」。きつと今日も、本を求める人たちのために走っています。



私のまちの図書館は、

館内イベント

やっています。



ぜひ図書館に
遊びに来てください



2016.7.23-24
図書館まつり



2016.8.27
絵本作家 高畠那生さん
ワークショップ

毎月、本館・分館でお話し会もやっています。
詳しくは図書館だより (P.30) でチェック!



【財部】

ランチのアッコちゃん 柚木麻子

「アッコ女史からの今日のランチの指令は…」前向きで軽妙洒落、読んでおいしい短編集。



【大隅】 ホクトのきのこレシピ ホクト

“きのこ会社”ホクトがおくる、おかずに、ごはん、おつまみに…。おいしく食べるきのこレシピ集。

【末吉本館】

あつあつを召し上げれ 小川糸

幸福な食卓、運命の料理とのふいの出会いを描き、深い感動を誘う、7つの物語。



食べる。

私のまちの図書館は、

おすすめ

します。



曾於市。



【末吉本館】 わらべ歳時記 稲積幸男

曾於市出身の著者が描く、昭和30年代初めの風景。「失われた時」を絵と文で振り返る。

【大隅】

「弥五郎どん」は何者か 山口保明

御霊信仰を軸に、隼人伝承、八幡信仰や放生会、農耕神事などの民俗的舞台を探る。



【財部】 83歳の女子高生球児 上中別府チエ

83歳で女子高生球児となった曾於市出身の著者が、学ぶこと、生きることのすばらしさを綴った一冊。

旅へ。

【大隅】

奇界紀行 佐藤健寿

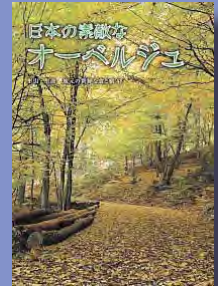
「見るもの、出会う人、みな奇妙。」奇界なる旅の全貌を綴った本格フォトエッセイ。



【財部】

日本の素敵なオーベルジュ 平野陽三

オーベルジュとは、フランス語で「宿」のこと。それぞれ自慢の食事を提供する、珠玉の宿をご紹介します。



【末吉本館】

旅に出るなら 一休.com

旅に出るなら、いつまでも思い出に残る宿に泊まりたいもの。全国の選りすぐりの素敵な宿を掲載。



【末吉本館】

私は、100歳 長岡三重子

水泳を始めたのは80歳。今も世界記録を次々と打ち立てている著者の人生から学ぶ。



【大隅】

あと少し、もう少し 瀬尾まいこ

寄せ集めのメンバーと頼りない先生の元で、中学生最後の駅伝に臨む生徒たちを描いた青春小説。



【財部】

いっしょに走ろう 道下美里

病で視力を失う過酷な現実の中、走ることに生きる役割を見出した。その劇的な半生を綴る。



動く。



車イスがピカピカに

車イスを磨くボーイスカウトの団員

9月24日、ボーイスカウト曾於第6団が特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。

この活動は毎年敬老の日の頃に行っており、今年で34回目になります。当日はスカウトが車イス約30台の清掃を行い、1台ずつ磨きあげていきました。

参加したスカウトは「きれいになった車椅子を喜んでもらい、うれしかったです」と話しました。ボーイスカウトでは、仲間を募集しています。入隊までの案内は曾於第6団ブログをご覧ください。



「敗戦の思い」を形に

作詞作曲した小林さん（右から2番目）

小林範三さん（都城市）が、太平洋戦争の敗戦直後に作った歌「終戦の詩」がCD化されました。

小林さんは大隅町岩川で幼少期を過ごし、旧海軍航空隊『芙蓉部隊』の基地建設に学徒動員された体験をお持ちです。「敗戦のことは今でも忘れられない。歌詞もメロディーも自然と生まれた」と話します。

岩川出身の前田孝子さんがCD化を勧め、義兄の片倉輝男さんに編曲を依頼。CDを聴いた小林さんは「抜群のできで感謝しています」と話しました。CDの問い合わせは、さわ写真館099（482）02008



初めての菊摘みを楽しむ参加者

ツアーで初めての体験

9月15日と16日、トマト収穫体験&菊の花摘み体験ツアーとそば打ち体験、ゴッタン体験と青ゆず収穫体験ツアーが行われ、鹿児島方面からの参加者が集まりました。

菊の花摘みは、ツアーとしても初めて組まれたもので、参加者の方々も初体験の方がほとんど。そば打ちも悪戦苦闘しながらも、楽しんで参加され、他のどの体験でもそれぞれ目一杯楽しんだ様子でした。

参加者は「曾於市のおもてなしに感動しました。次回も楽しみにしています」と話しました。



黒豚肉の給食を頬張る児童

9月6日、株式会社ナンチクが市内小中学校の給食に黒豚肉とウインナーを提供しました。

同社は年2回、曾於市・志布志市・大崎町の全小中学校に地産地消と食育の一環で黒豚肉を提供しています。今回は10年記念ということで黒豚荒挽きウインナーも提供されました。

末吉小学校では『黒豚スタミナどんぶり』『ジャーマンポテト』として児童に振る舞われました。同小1年の谷口泰智さんは「給食を食べると速く走れそうです。とってもおいしいです」と話しました。

ナンチクがクロの日に黒豚肉を提供



実演を熱心に見入る参加者

救急の日に救命講習会

9月9日、末吉総合体育館で救命講習会が開催されました。この講習は平成21年から始まり、今年で7回目。心停止傷病者の初期段階での救命に最も有効であるAED（自動体外式除細動器）の取り扱いを中心に行われました。救急救命士による実演では、仮装や鹿児島弁を交えながら分かりやすくAEDの使い方を参加者へ伝えていました。

参加者は「いざ、というときに動けるように講習を重ねていきたいです」と話しました。



一輪車でのパフォーマンスを披露する児童

岩南小創立140周年記念式典

9月25日、岩南小学校で創立140周年記念式典が開催されました。

明治5年、岩崎分校として設立し明治9年、岩崎小学校に改称。『清く・明るく・たくましく』の校訓と『花とカヌーとICTの学校』のキャッチフレーズで140年の歴史を積み上げてきました。

コーラス野ばらと児童の合唱や鹿屋中央高校吹奏楽部の演奏があり、式典に花を添えました。記念事業実行委員長の片田昭一さんは「岩南小学校のますますの活躍を願っています」と話しました。



『鶏・マーくん』を撮影するTBSスタッフ

マトヤ技研の「鶏・マーくん」TBSで放送

9月23日、マトヤ技研（末吉町南之郷）がTBSテレビの取材を受け、10月23日に放送されました。毎週日曜放送（午後7時56分）の『珍種目No.1は誰だ!?ピラミッドダービー』内で、鶏肉のぼんじりから自動で骨を除去する『鶏・マーくん』で工業用マシンの速さを競う工場マシンスピードダービーに出場。マトヤ技研の商品開発と技術力が高く評価されての出場となりました。



リレーで子どもと併走するナンチク陸上部員

諏訪小運動会にナンチク女子陸上部が参加

9月25日、諏訪小学校・諏訪校区合同秋季大運動会にスペシャルゲストとしてナンチク女子陸上部の皆さんが参加しました。

リレーや色水で一升瓶をはやく一杯にする『あわてずゆつくり』など数種目に出場し会場を沸かせました。

同陸上部の平田紗也さんと一瀬遙香さんは「貴重な体験ができました。子どもたちや校区の皆さんに喜んでもらいよかったです」と話しました。

今後も総合的な学習の時間に交流活動を行う予定です。



コメリと協定締結

協定を結んだコメリ災害対策センターと市長

9月29日、NPO法人コメリ災害対策センターと協定を結びました。こちらの団体は株式会社コメリが平成17年に設立し、コメリ緑資金の助成を受けて活動しています。災害時にはブルーシートなどの救済物資を迅速に被災地へ届けたり、防災啓発活動などにも精力的に取り組んでいます。五位塚市長は「曾於市が被災したときは、必要な物資を迅速かつ円滑に供給していただけるようになった」と話しました。



ゼンリンと協定締結

協定を結んだ株式会社ゼンリンと市長

9月16日、株式会社ゼンリンと協定を結びました。災害発生から即時に住宅地図を利用できる環境を構築し、災害対応に役立つ実用性の高い地図を予め用意しておくことで、より迅速な災害対応が可能になると考えられ協定が締結されました。この会社はこれまでに、全国各地で起きた災害等に、住宅地図の提供を中心被災地への支援を行ってきました。五位塚市長は「今回の協定は、曾於市の防災・減災対策をさらに強化できるものになると思います」と話しました。



講師の中村朋美さん

魅力アップを目指して

10月5日、末吉総合センターで「魅力アップ・マナーアップセミナー」が開催されました。講師はフリーアナウンサーの中村朋美さん。セミナーは6月、8月、10月の全3回行われ、延べ73人が受講しました。セミナーはリラックスした雰囲気の中行われ、コミュニケーション術やマナー、自己紹介方法などについて実践を交えながら学びました。参加者は「さっそく職場で役立つように練習したい」「会話美人を目指します」と話しました。



タイトル：「群」（100号S）

ふるさとへ絵画を寄贈

財部町出身の画家、有村隆雄さんが財部中央公民館に作品を寄贈しました。財部で農業をしていた有村さんは21歳のとき、名古屋に就職。アルミニウム板の製造工場で働きながら絵画を学びました。「作品にとっても、ふるさととの曾於市に置いてもらうのがいい」と願成寺住職の藤本高明さんを通じ寄贈することになりました。五位塚市長は「絵のまち、畜産のまち曾於市にぴったり。多くの方が目に來られることを願っています」と話しました。